

祝 600 号達成

あかるいまち 21

ホームページはこちら♪→<http://www.hch.coop/>

組合員活動ニュース No.602

2011年11月24日(木)

広島中央保健生活協同組合

組織部 TEL082-532-1264

FAX082-532-1267

生協強化月間中の到達(9/26-11/22)は、仲間ふやし 533名、出資金ふやし 19,544千円になりました～☆11/22の仲間ふやしは、どどーんと27人！記録更新!!!さらにさらに、ビッグニュース。当生協が今年度累計と昨年度累計の増減差(313人増)で全国トップになりました！スゴイーw(ﾟ)w 強化月間も残すところあと1週間を切りました。ラストスパートがんばろー！

	月間目標 (年間目標の8割)	11/22の成果	月間中の到達 (9/26～11/22)	今期の到達 (4/1～11/22)
仲間ふやし(人)	2,080	27	533	1,441
出資金ふやし(千円)	128,000	208	19,544	67,733

福島第一原発事故を考える(11/13 生協さえき病院利用委員会)

11月12日(土曜日)14時から、生協さえき病院の2階リハビリ室で前福島生協病院院長の齋藤紀先生(現在 福島医療生協 医療生協わたり病院)による「福島第一原発事故を考える」講演会がありました。この講演会は生協さえき病院利用委員会の主催、呼びかけで企画され、当日は150人の参加で会場はいっぱいとなりました。講演の中で、「レベル7の原発事故が25年に2回起きている。それは、チェルノブイリ原発事故と今回の原発事故で、普通に起きる事故だ」という認識を持たなければならない。福島第一原発を廃炉するにしても30年以上かかると言われている。また、関東圏を含めた3,000万人が避難をしなければならない最悪のシナリオもあったと聞いている。この産業が今後も存続しうるのだろうかという問いかけに私は「出来ない」というのが答えです」と述べられました。最後に、「被災地の復興を阻むものにTPPがある。農業分野の関税がゼロになるということがどういう意味を持つか理解しなければならない。TPP交渉参加は復興の剣が峰になる」と締めくくられた。当日は、NHKの取材があり、早速夕方のローカルニュースで講演の様子が放送されました。



【前福島生協病院院長 齋藤先生】

生協創立56年の歴史と新病院建設への夢を込めて



生協さえき病院では、生協強化月間中、病院待合に生協さえき病院利用委員会作成の展示パネルを貼りだしています。広島中央保健生協の56年の歴史を「福島診療所から新病院建設までの流れ」と題して5枚の模造紙に。また、生協さえき病院利用委員会の役割と実際の活動内容について2枚にまとめてあります。最後に、「成功させよう！ 生協歯科、クリニック、病院建設」第5次長期計画の事業計画の成功を展望して締めくくってあります。本当に組合員の気持ちのこもった力作です。



広島中央保健生活協同組合